



TCA

—NEWS—

Vol. 66

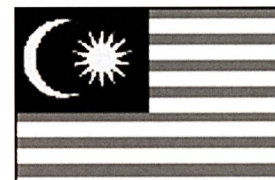
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
C i Cビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会

マレーシア海外研修

1. 目的：外国を訪問して現地の教育機関、企業等との友好親善を図るとともに、会員の外国に対する理解と知識の取得により、国際交流・国際協力の意識高揚と地域での多文化共生の実践に役立てる。
2. 訪問先：マレーシア(クアラルンプール・マラッカとその近郊)
 - (1) マラヤ大学：日本語留学特別コース
 - (2) 立山オートマシーン・マレーシア(株)：代表取締役社長 原田 稔
3. 期間：2010年2月9日～14日
4. 参加者：20人
5. 日程：

2/ 9(火)	13:15	バスにて出発→19:30 関西空港着(関西空港泊)
2/10(水)	11:10	関西空港発マレーシアへ→17:05 クアラルンプール着
2/11(木)	9:00～18:30	クアラルンプール市内見学
	20:00～21:30	マヤラ大学訪問(学生との日本文化交流・懇談)
2/12(金)	10:00～11:00	立山オートマシーン・マレーシア(株)訪問
	13:00～17:00	クアラルンプール市内見学
2/13(土)	8:25	タンビン発(マレー鉄道にてマラッカへ)
		世界遺産マラッカ市内見学
	23:55	クアラルンプール空港発→日本へ
2/14(日)	7:00	関西空港着
	8:00	関西空港発バスにて富山へ13:30到着



マラヤ大学にて

今回の海外研修(マレーシア)には、主に2つの目的がありました。一つはマラヤ大学での学生との交流を図る。もう一つは、富山市に本社がある立山科学グループの現地法人「立山オートマシーン・マレーシア」を訪問して海外進出の現況を知るというものでした。マレーシアは、マレー系・中国系・インド系ほか多民族が平和的に共存している国である。今年度の資料によると富山市内の外国人留学生数は、現在マレーシア出身が中国(372人)に次いで2番目に多く49人が在籍している。富山大学(43人)、富山工業高等専門学校(4人)、富山商船高等専門学校(2人)であり、訪問を快く受け入れていただいたマラヤ大学出身の学生もいる。このマラヤ大学には日本語留学特別コース(2年制)があり、卒業後は毎年多くの学生が日本各地の大学に留学するとのことであった。学長のDr. Jaafar Bin Jambi 先生、竹丸 忠委員長のあいさつの後、会員と学生は3グループに分かれて、折り紙、剣玉、いろはカルタで交流した。日本語が通じるので遊びを通して日本の文化はもちろん富山の自然環境、学生達の日常生活についても会話が弾み、あちらこちらで明るい笑い声が聞かれた。また、立山オートマシーン・マレーシア(株)は、4つある企業団地のうちの一つでセランゴール州・シャラムで1988年(昭和63年)設立。進出時にはマレーシア政府から税制上の優遇措置があったとのこと。F A機器の設計・製造、各種機械部品の製作、ソフトウェア開発などを行い、販売販路はアジア各国を中心に世界に及ぶ。現在の厳しい経済情勢のなか生産数を見極めながら事業展開をしているとのことであった。精密機械の設計、生産に携わる従業員の皆さんはとても勤勉であるとのこと。日本人スタッフ3人の他は現地採用者(社員全体120人)で、イスラム教徒も多いとのことでしたが、勤務時間中にお祈りの時間が確保されているなど、マレーシアの国情、宗教にも配慮がなされ労使関係は良好のようだ。終身雇用ではないのでキャリアを積んで他の企業に移る方もあるようだ。ここでは、マラヤ大学、マレーシア工科大学から優秀な人材を採用していると説明されていた。活気あふれる企業との印象があり、今後の発展がおおいに期待される。マレーシアでの海外研修を終えて20人の団員が持ち帰ったものは、今後ますます進展していく国際化に対応して、それぞれが身近な場面で、実践という形で成果を挙げていくことを確信している。

(姉妹友好都市委員会)



ツインタワービルをバックに

皆様のご協力、ありがとうございました！

使用済みプリペイトカード収集 ご協力のお礼

使用済み切手・使用済みプリペイトカード収集にご協力いただき、誠にありがとうございました。2009年4月から1年間にお寄せいただいた分を2月18日富山県ボランティアセンターに届けてきました。みなさまのご協力に深くお礼申し上げます。

富山市民国際交流協会 ボランティア委員会



ハイチ大地震・被災者 救援金募金のお礼

ハイチ大地震被災者救援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございました。みなさまからお寄せいただいた募金の総額36,253円は、日本赤十字社を通じてハイチ復興支援に役立てていただくよう3月3日、振込みいたしましたことをご報告いたします。みなさまのご協力に深くお礼申し上げます。

新春国際交流のつどい2010



日時 平成22年1月17日(日) 14:00~16:00
場所 CiC5F 多目的ホール
内容 二胡演奏、歌(国際交流フェスティバル2009外国人カラオケ大会優勝)、南米の音楽演奏、ジャグリング、お楽しみ抽選会、みんなで歌おう!「世界に一つだけの花」、バルーンアート、抹茶席

18カ国にわたる外国人96名を含む174名の参加がありました。中国の二胡演奏やカラオケ大会・南米の音楽演奏などを楽しんだ後で折りたたみ自転車などが当たるお楽しみ抽選会がありました。着付けをしてもらった外国女性で会場も華やいだ雰囲気でした。3年前にルーマニアから来たフォクダ・ラヴィニアさんは、「このような集いは初めて。とても楽しく着物が気に入った」と話してくださいました。

いま、多文化共生の時代ー私たちの活動説明会ー



日時 平成22年3月14日(日) 14:00~15:30
場所 当センター
内容 協会活動紹介(概要、委員会等)
新入会員の方による体験談、外国人相談員体験談、ティーパーティー

国際交流協会とはどんな活動をしているの? 会員になったら、どんなことに参加できるの? といった問いあわせにお応えできるように、また協会のPRをする機会がないので、昨年に引き続き、活動説明会を開催しました。51名(会員23名含む)の参加がありました。後半のティーパーティーでは、気軽な雰囲気でも情報交換ができたのではないかと思います。これを機会に、たくさんの方々に知っていただき、また一緒に活動する仲間が増えたらいいなと思います。

日本語ボランティア登録者研修会



3月13日(土)

今回の研修会は、「じゃんけんに学ぶ日本語指導」と題し、学習者の生活場面をそのまま取り入れる実践的な授業について学びました。また、富山市内の中学校で、外国籍生徒に日本語を教えるボランティアグループ「ハンド・ハンド」の皆さんによる実践報告もありました。みなさんがそれぞれ、一生懸命勉強し合って、よりよい日本語指導を目指したいと願っているということを感じました2時間でした。

富山市民国際交流協会には日本語ボランティア登録者制度があり、外国人の日本語支援を行っています。登録者の研修を定期的に行い、制度の充実をはかっています。

高田 誠治 新所長が着任

4月1日(木)



このたび河原所長の後任として富山市民国際交流センター所長に着任いたしました。平成13年に初めて文化国際課ができた折りに、2年間課長をさせていただいたこともありますが、殆ど忘れてしまっており、また会員の皆様のご指導の程、よろしくお願いいたします。

富山市民国際交流センター所長
(富山市民国際交流協会事務局長)

語学講座 (30回コース)

当協会では様々な講座を開講しています。30回コースは①韓国語入門②韓国語初級③ポルトガル語入門④中国語初級の4講座です。平成21年度は合計97名の方々が受講され、新しい語学に挑戦された方、また一段と磨きをかけられた方も多数いらっしゃったことと思います。新年度も様々な講座がはじまります。ぜひ挑戦してみませんか。



ポルトガル語講座「ブラジル料理について」



委員会報告



多国言語文化交流クラス「エジプト」(国際教養委員会)

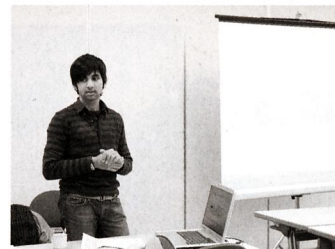
1月16日(土) "Your Tour Guide from Toyama"
講師 Ms. Heba Emam

エジプトは、面積約100万km²(日本の約2.6倍)で、人口7257万人の国。
「古代遺跡の顔だけではなく、新しいエジプトも知っていただきたい」
と講師のヘバさんはDVDを交えながら、エジプトの観光名所を紹介。

多国言語文化交流クラス「トリニダード・トバゴ&クレオール語」

2月6日(土)
講師 Mr. Jenson Deokiesingh

トリニダード・トバゴはベネズエラの北東に位置する2つの島(トリニダード島・トバゴ島)からなる。面積は5,128km²(千葉県よりやや大きい)で、人口130万人。民族はインド系の住民(40.0%)が多いことで、ほかの島々とは異なる独特の文化を持っているのも特徴。公用語は英語であるが、ヒンズー語、フランス語、スペイン語が混ざったTrinidadian Creole English(トリニダード・クレオール英語)も話されているのは興味深い。



もっと知ろう世界のくらし「セネガル」(文化交流委員会)

2月14日(日) 講師 ウスマン・サンガレ氏(富大留学生)
参加者18名

「セネガル」といえば、まず日本人が連想するのはパリ・ダカルラリーでしょう。しかし、パリ・ダカは外国人それどころか一部の車社会の国々でもてはやされる催し物で、セネガルの人々はまったく関心がないばかりでなく、かえって迷惑に感じているという。さらに高校から大学への進学率は100%で、その時点で学生の進路はすでに決まっているという。これらのことはウスマン・サンガレ氏の話を通じて初めてわかったことで、現実私たちの想像とかけ離れていた。こんな小さなことでも自分たちの思いで判断したり想像したりすることは過ちの素であり危険なことだ。外国人の故郷の話をも身近に聞いて少しずつでも相手のことを理解していきたいと思う。

もっと知ろう世界のくらし「サモア独立国」(文化交流委員会)

3月21日(日) 講師 高森レイサ氏

ポリネシアの楽園といわれるサモア独立国出身の高森レイサさんに、サモアでの日常生活についてお話をしてもらいました。初めに日本人のご主人が歴史や気候、諸外国との関係について説明されました。サモアでは、スコールという激しい雨が降っても、やんだ後はすぐに乾いてしまうので、傘をさす人はいないそうです。続いてレイサさんが、風景・料理・ダンス・結婚式など写真に合わせてお話されました。サモアのダンスは、男性はとても力強いとは対照に、女性のダンスはとても静かで指先で語るダンスだそうです。



2月9日英語スピーチと討論のクラス

"Evolution vs. Intelligent Design" (国際教養委員会)

2月9日(火) スピーカー Ms.likubo Zoe



通訳ガイド実践講座実地研修「金岡邸」

3月27日(土) 金岡邸 (国際教養委員会)

外国人ゲストを2人迎えて、わがガイド講座のメンバーは前もって頼んでおいた解説員の説明を順番に英語に訳していくという練習に挑戦した。解説員の代役ができる位の知識豊富なメンバーの話を聞いたりして内容の濃い会となった。
14名参加



Traveling abroad for whatever your purpose is wonderful, but travelling to Japan is really another taste and another challenge. When i first came to Japan ,i found it very difficult to get used to life in Japan which is known as culture shock everybody experience when travelling away from his country, family and friends. Difference in culture, eating habits, climate and others make it difficult for me for the first time. But as time went by i get used to life in Japan and the lovely Toyama city and i started enjoying life, delicious food like Sushi, Sashimi, Tempura...etc. Toyama is really a beautiful city, calm and people are so kind. Japanese knows a lot about other countries, but as far as Morocco is concerned they know just a little, the reason why i made many presentations to introduce my country, culture and education system.

Think that i was lucky that they sent me to Toyama University, because i had a big chance to visit different schools around all Japan and establish strong relationship with famous professors and educators. I learned a lot about elementary education system in Japan and i report all the strongest points in this system. I had a chance also to make friends, speak Japanese though not good enough at it. My stay in Japan for one year and a half is by far one of the biggest events in my life.

Abdelaziz lahamar

委員会報告



書道教室

(文化交流委員会)

12月13日(日)

お正月の部屋を色紙で飾ろう・・・と外国人14名の皆さんは書道用具の説明から筆の持ち方などを学んで好きな字を選んで挑戦し新春の集いで展示した。



年忘れパーティー

(ボランティア委員会)

12月20日(日)

カードケース作りや中国の羽根けりゲームで楽しみました。



料理交流会

(ひな祭りのごちそう)

(ボランティア委員会)

2月18日(木)
富山市中央保健福祉センター

日本人10名外国人14名
メニューは、ちらし寿司・キャベツのみそマヨネーズあえ・はまぐりの潮汁・桜餅

まず保健福祉センター栄養士の方から「食事と生活習慣病予防」のお話を聞いて料理に挑戦しました。うす焼き卵が厚焼き卵になったり使う予定の干しシイタケの戻し汁を捨ててしまったりと失敗もありましたが参加者たちは出来上がりに「きれい」「美味しい」と笑顔でした。

富山大学留学生センター日本語研修コース受講生 ホームビジットプログラム (ボランティア委員会)



当協会では年に2回(7月と2月)の富山大学留学生センターと連携し実施しています。今回は2月6日(土)に6名の方が3家庭でホームビジットし、日本の家庭を体験しました。

「初めてのホームビジット」梅澤 由美子
雪が降る中、富山大学に中国の徐さん、韓国の安さんを迎えに行きました。私は今回初めてホームビジットを受け入れ、短い時間で、どんなことをしてもなせばいいのか迷っていましたが、二人とも日本語が上手だったので、お互いの国の話をして過ごしました。昼食を食べた後お雛人形を飾った部屋で桜餅とお抹茶を頂き、ひな祭りの説明をして中国や韓国には、似たような風習があるか聞いたりしていると、すぐに時間が経ちました。短い時間でしたが、話をしながら中国も韓国も、近い国だけれどもお互い知らないことが多いのだと感じました。今回ホームビジットを体験してみて、慣れないこともあり大変でしたが、それ以上に楽しい時間を過ごせたと思います。

中国語集中講座 (国際教養委員会)

3月6日、16日、20日

毎年恒例の集中講座を開催。今年の内容は①「楽しく中国語を覚えよう」(入門A)、②「結果補語の理解と活用」(入門B)③「語気詞で会話のニュアンスを感じ取る」(実践会話)④「中国語のヒアリング力アップ」(初級ヒアリング)の4クラスで、118名の方々が出席。また特別講座では、富山大学人文学部徳永洋介教授をお迎えし、「宋代社会と士大夫文化」についてお話いただきました。87名が参加し、文化についての知識を深めました。



「宋代社会と士大夫文化」(特別講座)

訳文です

海外旅行はその目的が何であれとても素晴らしいですが、日本への旅は、本当にまた特別な味わいがあり、そして、別のチャレンジがありました。日本に初めて来たとき、自分の国、家族、友人から離れて、誰もが経験するカルチャーショックで知られるように、日本の生活に慣れることは難しいことだと思いました。

文化、食習慣、気候等の違いは私にとって初めはたいへんでしたが、日が経つにつれ、日本そして素敵な富山での生活に慣れ、生活や寿司、さしみ、てんぷら等のおいしい料理を楽しめるようになりました。富山は本当に美しく、静かな街であり、人々もとても親切です。

日本人は外国についてよく知っておられますが、モロッコに関して言えばあまり知られていないようで、そのためか、わたしはモロッコの国、文化や教育システムについて多くプレゼンテーションをしました。

私は富山大学に派遣されたいへん幸せでした。日本中の様々な学校を訪れる機会にも恵まれ、有名な教授や教育者の方々と親密な関係を築くことができました。日本の小学校教育制度について多くのことを学ばせていただき、この制度についてすべての良い点を報告しました。また友人もでき、十分ではないけれど日本語も話す機会に恵まれました。

日本での1年半の滞在は、私の生涯で特筆すべき大きな出来事でした。

アブドゥル・アジズ (モロッコ出身・富山大学教育学研究科教育研究生)

協会主催講座

	研修講座・クラス名	日時		回数
1	ボルトガル語講座（入門会話）	毎週水曜日 5/19～	18：30～20：00	30回
2	韓国語講座（入門）	毎週水曜日 5/26～	18：00～19：30	30回
3	韓国語講座（初級）	毎週水曜日 5/19～	19：00～20：30	30回
4	中国語講座（初級）	毎週金曜日 5/21～	18：30～20：00	30回
5	ボランティアによる日本語クラス	毎週（随時）	随時	週1回
6	日本語ボランティア登録者研修	年2回		2回
7	多文化共生ボランティア登録者研修	未定	未定	未定
8	学習日本語支援教室「勉強お助け隊」	毎週水曜日	16：00～17：30	週1回
		毎週日曜日	10：15～11：45	週1回
9	月季の会	第2金曜日	14：00～16：00	月1回
10	エンコントロ	不定期		
11	夏季集中日本語講座入門・初級・中級、他	8月2日(月)～7日(土)	10：30～12：00	年1回
12	高校生のための“通訳ガイド(英語)入門夏季集中講座”	8月4日(水)～7日(土)	10：30～12：00	年1回
13	多文化共生語学ボランティア入門講座（英・中・韓・伯）	下記参照	13：30～15：30	年6回

国際教養委員会主催講座

	講座・クラス名	日時(4月開講)		回数
1	国際理解のための時事英語クラス	毎月第2土曜日	10：00～12：00	10回
2	日本文化を英語で語るクラス	毎月第3土曜日	10：30～12：00	10回
3	英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日	10：00～12：00	10回
4	英語スピーチと討論の会(ESD)	毎月第2火曜日	18：30～20：00	10回
5	英語で自由に語り合う会(EES)	毎月第4火曜日	18：30～20：00	10回
6	中国語入門クラスA	毎月第1土曜日	10：00～12：00	11回
7	中国語入門クラスB	毎月第2土曜日	10：00～12：00	11回
8	中国語初級ヒアリング・クラス	毎月第3土曜日	13：30～15：30	11回
9	中国語実践会話クラス	毎月第4土曜日	10：00～12：00	11回
10	韓国語会話クラス	毎月第2土曜日	13：30～15：00	10回
11	ロシア語入門・初級クラス	毎月第2土曜日	13：00～15：00	10回
12	日本語ボランティア養成講座(春・秋クラス)	毎月第1、3木曜日	10：30～12：00	各12回
13	多言語文化交際クラス	毎月第1土曜日	13：30～15：00	8回

多文化共生語学ボランティア入門講座

この講座では、コミュニティー通訳など、語学を生かしたボランティア活動に必要な、日本語と外国語(英中韓ポルトガル語)の語学向上を目指します。ロールプレイなどの実践的な練習とともに、文化の違いなども学びます。たくさんの方の参加を待っています。

多文化共生語学ボランティア入門講座受講生募集

「生活の言葉を学びませんか」「異文化を学びませんか」現在、富山県に在住する外国人は約1万4千人です。(平成21年12月末)しかし、言葉の壁や文化の違いから様々な問題が生じています。そこで、当協会では、外国人と日本人の間のコミュニケーションをサポートする「多文化共生語学ボランティア入門講座」を開講します。

対象言語：英語、中国語、韓国語、ポルトガル語（＊入門レベルから）

日 時：毎回13:30～15:30

①5/29 ②6/26 ③7/31 ④10/23 ⑤11/27 ⑥12/25(すべて土曜)

場 所：富山市国際交流センター会議室(CIC3F)

受 講 料：会員一無料、非会員一回500円

定 員：各言語 20名程度



チリ大地震被災者救援金バザー

協会図書コーナーで貸出・閲覧していた雑誌・書籍・外国語新聞を一部バザーに供出します。皆さんの外国語学習等にお役立てください。1冊の値段はありませんが、お志をお願いいたします。☆集まった収益金は、チリ大地震被災者救援金に寄付します。

お知らせひろば

これからの行事予定

お申し込み・お問合せは当協会まで

TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行事	日時	ところ	担当委員会	会費	対象
多国言語文化交流クラス 韓国・韓国語 講師 徐 承姫 氏	4月3日(土)	13:30～15:00	当センター	国際教養	200円 会員
英語スピーチと討論の会例会	4月13日(火)	18:30～20:00	当センター	国際教養	無料 会員
理事会	4月21日(水)	15:30～	当センター	---	---
総会・記念講演会・懇親会 記念講演 講師 NPO法人たかとりコミュニティセンター専務理事・機工フエムわいわい代表取締役 日比野 純一 氏 テーマ 災害時に多言語で情報を届けるための極意	5月20日(木)	16:30～	とやま市民交流館学習室 及び5F多目的ホール	合同	懇親会 4,500円 会員
多文化共生語学 ボランティア入門講座開講①	5月29日(土)	13:30～15:30	当センター	---	--- 会員
多国言語文化交流クラス	6月5日(土)	13:30～15:00	当センター	国際教養	200円 会員
料理交流会(1) 健康食	6月16日(水)	10:00～13:00	富山市中央保健福祉 センター	ボランティア	300円 会員 外国人
多文化共生語学 ボランティア入門講座開講②	6月26日(土)	13:30～15:30	当センター	---	--- 会員
国内研修	7月4日(日)～ 5日(月)		三重県四日市市	総務企画	未定 会員
料理交流会(2) 健康チェック	7月9日(金)	10:00～13:00	富山市中央保健福祉 センター	ボランティア	300円 会員 外国人
日本語ボランティア登録者研修	7月	10:30～12:30	当センター	---	無料 会員
ゆかた着付け教室	7月11日(日)	13:00～15:30	当センター	ボランティア	無料 外国人
富山大学留学生ホームビジット	7月月初	10:00～17:00	---	ボランティア	---
多文化共生語学 ボランティア入門講座開講③	7月31日(土)	13:30～15:30	当センター	---	--- 会員
富山まつり「おわら踊り」	8月7日(土)	16:00～21:00	城址大通り	合同	--- 会員 外国人
夏季集中日本語講座 入門・初級・中級、他	8月2日(月)～ 7日(土)	10:30～12:00	当センター	---	--- 外国人
高校生のための 「通訳ガイド(英語)入門 夏季集中講座」	8月4日(水)～ 7日(土)	10:30～12:00	当センター	国際教養	--- 高校生

行事につきましては、企画中のものもありますのでホームページ <http://www.tca-toyama.jp> でご確認ください、協会までお問い合わせください。

みなさんご存知でしたか!?

図書コーナーをご利用ください!

富山市民国際交流協会の図書コーナーをご存知ですか? 富山市民国際交流協会では様々な書籍の貸出・閲覧をしています。国際交流・異文化理解・日本語指導・多文化共生等に関する・書籍・雑誌・新聞・機関誌などを所蔵しています。協会カウンターにて貸出手続きをすれば、どなたでもご利用いただけます。

貸出冊数: 1回につき5冊まで
貸出期間: 2週間以内

中国語の
図書・DVDも
あるよ!

皆さんのご利用をお待ちしています!!

“とやま観光ガイドマニュアル”をご存知ですか?

皆さんは“とやま観光ガイドマニュアル(英語版)”をご存知ですか? 国際教養委員会“英語通訳ガイド実践クラス”の有志メンバーが“通訳ガイドマニュアル作成委員会”を立ち上げ、2年の歳月を経て完成されました。このガイドマニュアルは2部構成で、第1部は、バスツアーを想定し、ツアーガイドのマニュアルとなっており、第2部は富山市民俗民芸村案内マニュアルとなっています。いろいろな人にこのマニュアルを使っていただき、外国の人々が富山を知る一助となれば幸いです。

富山市民国際交流協会ホームページについて

皆さんは富山市民国際交流協会のホームページをご覧になったことはありますか? 当協会イベント情報の他、外国人の暮らしに役立つ案内を掲載しています。言語は、日本語・英語・韓国語・中国語・ポルトガル語です。お知り合いの方にも、ぜひご紹介ください。イベント情報は、随時更新していますので、お見逃しなく!!

富山市民国際交流協会ホームページアドレス
<http://www.tca-toyama.jp>

平成22年度富山市民国際交流協会総会のお知らせ

日 時: 5月20日(木)
総 会 16:30～ CiC3Fとやま市民交流館 学習室1～3
記念講演会 17:15～ 同上
演 題 「災害時に多言語で情報を届けるための極意」
講 師 NPO法人たかとりコミュニティセンター専務理事・機工フエムわいわい代表取締役
日比野 純一 氏
交流レセプション 18:30～ CiC5F多目的ホール
参 加 会 費 4,500円
多くのみなさんの出席をお待ちしております。

会員のみなさまへ<会費納入>のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円 法人・団体 10,000円
○納入方法 ①当協会窓口
②振込
北陸銀行富山市役所出張所
口座「富山市民国際交流協会」
普通預金No.4076440

男性用ゆかたご寄付のお願い

毎年7月開催のゆかた着付け＆おわら踊り教室や、8月開催のとやま祭りのときに、男性用ゆかたが足りなくて困っています。ご家庭で眠っている男性用ゆかたや帯がございましたら、協会へご寄付いただくと大変助かります。皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

毎年春になると、新しいことにチャレンジしたくなってきました。なかには決心はするものの、なかなか実行に移せないものもありますが、大体は実行しています。ただ今度は最後までそれをやり通せるかというところ、これまでそうではなかったりしています。こうしては、どんとどんとやりたいことがたまっていく一方の毎春です。今年はそれらを整理して、確実にやりたいことを完結したいと思っている次第です。また、来春に繰越にならないように頑張ります。

広報委員会